

## 副市長の講義

人文社会学部現代社会学科の講義科目に「問題認識特講」がある。入学してまもない1年生に早く現代社会の諸問題への関心を高め、問題認識をもってもらう目的で、第一線で活躍している自治体職員、ジャーナリスト、経済人を招いての講義である。コーディネーター役をつとめる私のガイダンスのあと、トップバッターは名古屋市の副市長・

山田雅雄さんである。要職で平日は無理なので、今年も土曜日5コマの集中講義として開講した。7年前からの担当なので、講義は手馴れたもので学生からも好評である。テーマは「名古屋のまちづくり」であり、



歴史から現状そして政策へと多岐にわたる問題提起的な講義であり、「まちづくり論」としても興味深い。

副市長の講義で楽しみなのが、講義前後にいろいろ話ができることだ。今年は昨年につづいて受講した熱心な学生（単位取得済み）と一緒に、懇談でき示唆をえることができた。講義後にお礼をかねて学部パンフレットへの掲載依頼をしたら、すぐに次のような心強いコメントが届いた。嬉しいかぎりだ。

「これからのまちづくりに求められる能力は”調整”です。それにもっとも応えられる学問は、都市計画でも土木でも法律でもなく社会学であると思います。」

（2008年4月28日 記）